

公益社団法人  
山鹿法人会 広報誌

やまほほう

(総会特集号)

通常総会特集号  
令和6年7月吉日  
編集発行人  
山鹿市山鹿 1664-1  
公益社団法人山鹿法人会  
会長 本田 雅晴  
編集責任者  
専務理事 古川 清和

第37回通常総会を厳粛・盛大に挙行

第1部 本会通常総会

去る6月4日(火)、「公益社団法人山鹿法人会第37回通常総会」が、山鹿市の富士ホテルにおいて開催されました。会員373社(本人出席77名、委任状提出296社)の出席の下、山鹿税務署の木村有里署長、三次義一統括官、熊本西税務署の菊川晃副署長、熊本県北広域本部鹿本地域振興局上塚恭二局長、山鹿市の池田淳志市民部次長はじめ、友誼団体の各団体の長及び受託3社の幹部の方々を来賓としてお迎えし、フルスペックで講演会、会員交流会を織り込んだ通常総会を実施しました。

川上武青年部会長の司会により、厳粛に挙行されました。



田中栄一副会長の開催宣言の後、本田雅晴会長が、「多くの会員の皆様の参加をいただき、また、山鹿税務署長はじめ、多くの来賓をお迎えし、盛大な総会を開催できることに感謝申し上げます。

新型コロナも令和5年5月に2類から5類へ移行され、その後、人的抑制もなくなり、予定していた活動は計画通り実施することができました。役員の皆様をはじめ、会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

私ども法人会を取り巻く環境は、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う輸入材の高騰や、ドル高・円安に伴う物価高が大きく社会経済を圧迫しており、安寧できる状況にはありませんが、新設法人説明会の開催、令和6年度税制改正提言の要望活動、租税教室の開催、女性部会の税に関する絵はがきコンクール、社会貢献活動として所管する小学校に対する

教育図書や寄贈や献血、会員交流のための「ボウリング大会」、「親睦チャリティゴルフ大会」の開催などの各事業を実施することができました。

また、会員増強については、新規の入会者は前年度を上回ったものの、前記した社会情勢の影響もあって増加した退会者に加え者が追いつかず、僅かに届きませんでした。

私どもは「法人会は税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である」との理念の下、公益社団法人として納税意識の向上と地域社会の健全な発展に貢献していく必要があります。

令和6年度においても、私ども法人会を取り巻く環境は、国内外ともに厳しい状況下にはありますが、一方で、いよいよTSMCの向上の稼働も始まり、経済効果は期待できると考えており、私どもの法人会活動がさらに活性化するよう役員一同最大限の努力をして参りますので、会員の皆様方のご協力をお願いいたします」と挨拶されました。

議事に先立ち、事務局より公益社団化した後の定款によると、本通常総会の議案は「令和5年度の決算承認」1議案であり、「令和5年度事業報告」並びに「令和6年度の事業計画及び収支予算」は報告事項になる旨を説明しました。

#### ◎ 第1号議案 令和5年度決算承認の件

定款の規定により、本田雅晴会長が議長  
の座につき、議長は、事務局に令和5年度  
の決算について説明を求めました。

古川専務理事は、総会資料を基に、令和5  
年度正味財産増減計算書・貸借対照表・財産  
目録について縷々説明しました。

説明の後、議長は監査報告を求め、監事石川了一氏より、「令和5年4月17日、監事木村三洋氏とともに法人会事務局に赴き、各事業の実施状況及び帳簿書類の監査を実施した結果、理事の職務の執行に関する不正の行為及び定款等に反する事項は認められず、また、計算書類等も証拠書類と一致しており、本総会の決算書は正確であると認められる」旨の監査報告がありました。

続いて、議長は、本件について承認を求めたところ、第1号議案については満場一致をもって可決・承認されました。



#### ◎ 第2号議案（報告事項）

議長は、報告事項となっている令和5年度の事業報告、令和6年度事業計画及び収支予算について説明するよう事務局に求め、古川専務理事は令和5年度の事業については、ほぼ計画通り事業を遂行することができたこと、その概要につき次のとおり説明しました。

#### 公1事業（税を巡る諸環境の整備改善を図るための事業）

【新設法人説明会】令和5年10月26日に山鹿税務署の協力も得て開催し6社、7

名の事業者の参加があった。

同説明会には、本田会長ほか幹部役員も出席し、法人会の説明や名刺交換等を実施した結果、本年度も年度内に新規加入頂いた企業が数件あった。

また、租税教室の開催は山鹿市内の小学校5校（三玉、八幡、大道、鹿本、山鹿）及び植木町の田原小学校の計6校で実施し、340名の児童に「人生ゲーム」という税のない社会を体現してもらい、「税」について考えてもらった。また、同時に女性部会の活動である「第15回税に関する絵はがきコンクール」への応募も行った。



本年度も租税教室開催校に限らず、山鹿市内の8小学校及び植木町北部地区4小学校に対して、図書館用教育図書「マンガで身につくシリーズ『呼吸法』、『伝わる話し方』2巻セット」（金の星社出版）の寄贈に併せて「税に関する絵はがきコンクール」への応募をお願いした。その結果、479枚と過去最高の応募があった。

なお、優秀作品については、「山鹿市租税教育推進協議会」並びに「山鹿・植木地区税務協力団体長連絡会」の協力を得て、税の作品集に掲載したほか、表彰権者が学校に赴き、直接入賞者に表彰状の授与を行う等の取組みも実施しました。

## 公2事業「地域の経済社会環境の整備改善等を図る事業」

### 【職場対抗ボウリング大会】

玉名市の「つかさポウル」において、16組48名の会員企業の参加があった。

### 【会員親睦チャリティゴルフ大会】

本年度は鹿北ゴルフ倶楽部において、59名の参加を得ることができた。

### 【かほく祭り・植木初市】

本年度は、「かほくまつり」が11月19日・20日で、「植木初市」が令和6年3月23日・24日で開催され、当会も11月19日（日）、3月23日（土）に参加し、それぞれ「税金クイズ」のほか、「輪投げ・射的」等のイベントを行い、子供たちに楽しんでもらった。

植木初市は生憎の雨天ではあったが、税金クイズ直後に熊本県のマスコット「くまモン」も登場し、場内は大いににぎわった。

なお、山鹿間税会との共催事業「肥後仁○伽の八千代座公演」については、昨年が続いて、本年度も中止となった。

令和6年度の事業計画については、基本的には令和5年度と同様の事業を実施していくこと、予算についても令和5年度とほぼ同額予算を組み、活力ある法人会活動を推進していきたい旨説明しました。

会員の皆様から、特段、意見等も出されず、事業報告の承認及び6年度事業計画の承認を得た。

## ◎来賓祝辞

次いで、ご臨席をいただいた来賓の方々より祝辞をいただきました。要旨、次の通り  
《山鹿税務署長 木村有里様》

山鹿法人会の皆様方には、「法人会は税のオピニオンリーダーとして」適正申告や、期限内納付に取り組んでいただき感謝申し上げます。

令和5年10月1日より始まった消費税のインボイス制度も施行されたが、ご理解・ご協力のお陰でトラブルもなく、順調に推移している。

確定申告の状況を見ても、前年を大きく上回る消費税の申告があり、制度の定着を期待する。山鹿地区はTSMCを始めとする半導体関連で地価の上昇も見られるなど、今後の経済の活性化も期待できる。また、今後とも法人会は税のオピニオンリーダーとして種々の研修会の開催や確定申告書の早期提出や、行政のデジタル化（特にキャッシュレス納付）の推進に協力をお願いします。



《鹿本地域振興局長 上塚恭二様》



管内の法人事業者の半数以上が加入する団体として、種々の県行政のリーダーシップを担い、情報発信等に寄与頂いている。また、多くの社会貢献事業に敬意を表する。熊本県はTSMCの来熊により、「シリコンアイランド」として益々半導体関連の企業の立地は増加していくものと予測するが、今後とも、県行政の健全な推進にご協力をお願いします。

《山鹿市長（代理）市民部長 池田淳志様》

法人会の諸活動には感謝申し上げます。

特に、青年部会・女性部会の皆様で取り組んでいただいている小学生に対する租税教室については、未来のタックスパイヤーとして次代を担う子供たちに大きな影響を及ぼす活動と評価しているところであり、今後とも、より良い山鹿市発展のため、ご協力をお願いします。

《大同生命保険(株)熊本支社長（代理）法人会推進部長 小林敬介氏》

法人会の福利厚生制度推進について、厚く御礼申し上げます。

令和5年度から新たに「Challenge100」の取組みが始まっている。このキャッチフレーズは、① 事務費100億円を目指す。② 次の100周年に向かってその礎を築く。③ 飛躍（ひやく=100）をかけたもので、熊本県連が作成したものである。受託3社一丸となって取り組んでいくの



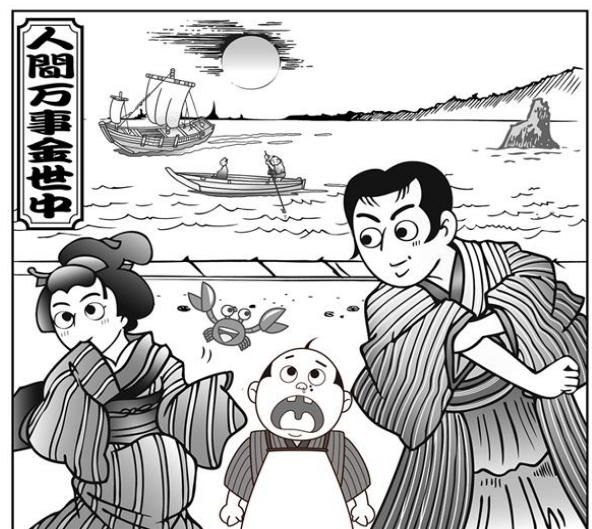
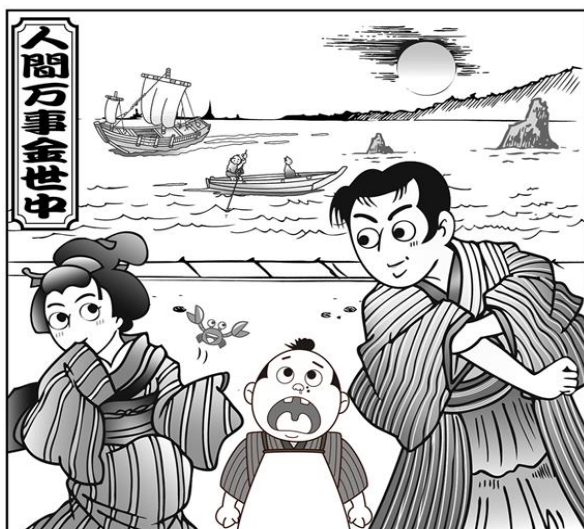
で、山鹿法人会の皆様方には、今後ともキャンペーンの取組みに係る制度利用にご理解とご協力を、また、会員の紹介等にご協力をお願いする。

次に、ご臨席いただいた各来賓の皆様のご紹介並びに祝電の披露があました。最後に、中山清志副会長が閉会を宣し、通常総会は無事、終了しました。

### 《山鹿法人会 令和6年度 当面の行事予定》

- 7月17日(水) 県連第1回広報委員会(大同生命ビル)
- 7月23日(火) 県連第1回事業研修委員会(大同生命ビル)
- 8月2日(金) 県下事務局会議・研修(大同生命ビル)
- 8月6日(火) 県連第1回総務委員会(大同生命ビル)
- 8月下旬 理事会及び福利厚生制度連絡協議会
- 9月6日(金) 県青連協「第34回青年の集いin宇土」
- 9月12日(金) 県連第1回組織・厚生合同委員会(阿蘇市)
- 9月(未定) 山鹿法人会ボウリング大会
- 9月19日(木) 全法連理事会(全法連会館)
- 9月27日(金) 南九連通常総会(熊本市)(青年部会、女性部会連協含む)
- 10月3日(木) 全国法人会鹿児島大会(鹿児島市)
- 10月23日(水) 県女連協第20回女性の集いin宇土(宇城市)
- 10月25日(金) 県連チャリティゴルフ大会(菊池:熊本中央CC)
- 11月7日(木) 全国青年の集いin福井大会(福井市)
- 11月7日(木) 南九女連協第17回女性の集いin大分(大分市)
- 11月未定 山鹿法人会チャリティゴルフ大会(鹿央ゴルフ)
- 11月19日(火) 県連第3回理事会(ザ・ニューホテル)
- 10月下旬~11月 各支部別研修

### 《クイズ 7つの間違い》



## 第33回 青年部会定時会員会議

去る、令和6年6月14日（金）、山鹿市の「喜久家」において、「公益社団法人山鹿法人会青年部会第33回定時会員会議（総会）」が開催されました。



部会員43名（本人出席23名、委任状提出20名）の出席があり、青年部会会則の変更、令和5年度の事業報告、収支決算の承認、並びに令和6年度事業計画及び収支予算（案）等が審議されました。

会の冒頭、川上武部会長が、就任1年の青年部会の取組みについての総括とともに、各役員部会員に対するお礼とともに、2年目に臨む体制について次のとおり、話されました。

第1号議案としても上程しているが、青年部会の会費（負担金）を令和6年度分から年10,000円（現行6,000円）に引き上げさせていただいた。現在の部会会費は総額で30万円強であるが、この額では青年部会として思うような活動ができない。

特に本年度は、9月6日に開催される「県青連協第34回青年の集い in 宇土」において、租税教育活動に係るプレゼンの発表の年となっており、そのためのDVDを制作する必要がある。前回までは役員のボランティアに依存していたが、全てを無報酬でということはできない。時間と労力を要することから、対価は支弁したいため、予算措置が必用である。また、全法連、南九連、県連と参加者を募って参加しているが、旅費の大半は個人負担であり、より多くの部会員の皆様にも参加頂くべく対応が必要である。

二つ目は、部会員の所属委員会の割当てである。前年までは、部会員は全ての委員会に所属するものとして活動してきたが、所属部会がないことから、一般会員の会員の活性化に繋がらなかったため、その点を反省してより活性化させる対策を講じた。

宮本理事の司会の下、第1号議案「青年部会会則の変更（部会員負担金 6,000円から10,000円に引き上げについては、満場一致をもって可決・承認されました。

第2号議案「令和5年度事業報告及び収支決算」については、富丸副部会長、中島会計理事により議案書に沿って縷々説明があり、続いて、梅野監事による監査報告の後、満場一致をもって可決・承認されました。

第3号議案「令和6年度事業計画及び収支予算（案）」については、内野副部会長及び中島会計理事により、令和6年度事業計画及び予算案が示され、提案された議案については、満場一致で可決・承認されました。

次に、令和5年度をもって定年で青年部会を卒業されることとなった方々を紹介がありました。

令和5年度に卒業された部会員は次の方々です。

- (株) LibWork                      瀬口 力 様
- (有) 喜久家                        黒田 直寿 様



また、新たな新入部会員の紹介があり、次の方が新たな仲間（部会員）となりました。

- (有)喜久家 黒田 武綱 様
- SKR・ジャパン(合) 坂梨 慶英 様
- (有)クリーン健康社 原口 真治 様
- 千代の園酒造(株) 本田 裕理 様
- 大同生命(株)玉名営業所長 山本 宏平 様 異動による転入

部会員の皆様、暖かいご指導をよろしく申し上げます。

令和6年度の青年部会の事業計画は次のとおりです。

部会員の皆様、青年部会の活動に対するご理解とご支援よろしく申し上げます。

### 《令和6年度事業計画》

「青年の持つ柔軟な発想と行動力を持って、本会の事業を積極的に推進するとともに、研修会及び交流会等を通じて次代を担う経営者としての資質向上を図ることを目的とする」との基本方針の下、次の事業を行う。

- 1 将来に向けた組織づくり
- 2 租税教育活動を中心とした活動実施
- 3 企業繁栄と地域社会への貢献
- 4 青年部会主催の各種大会への積極的参加
- 5 部会員の親睦事業の開催(他団体交流を含む)
- 6 従来に参加事業見直し(新規事業の発掘)

また、青年部会各活動委員会の事業内容は次のとおり

委員会・理事会	事業内容	
献血活動委員会	献血活動 例会実施	年2回の献血活動への参加と呼びかけ 企業繁栄及び献血に係る例会
租税教育活動委員会	租税教育活動 例会実施	小学生に対する租税教室の実施及び参加と呼びかけ・租税教室講師養成の例会
渉外活動委員会	交流活動 例会実施	地域青年団体との交流会及び親睦スポーツ大会参加の調整・移動例会などの対外的例会
Zeï 税ウォーキング委員会	県青連協主催 ウォーキング大会	実行委員として企画運営に参加
理事会	活動内容会議	地域に向けた組織づくり(会議の企画開催) 地域社会への貢献活動に係る企画・運営等

## 《令和6年度 青年部会当面の行事（イベント等）》

- R6.7.16 青年部会第3回理事役員会（山鹿市）
- R6.9.6 県青連協第34回青年の集い in 宇土（松橋）
- R6.9.7 同上チャリティゴルフ大会（あつまるレイク CC）
- R6.10.25 県連チャリティゴルフ大会（菊池：熊本中央 CC）
- R6.11.7 全国青年の集い福井大会（福井市）
- R6.11.16～17 第45回かほくまつり（いずれかの日に税金クイズ等）
- R6.11 未定山鹿法人会親睦チャリティゴルフ大会（KAOゴルフクラブ）

## 《 ちょっと一服 》

令和5年度 税に関する作文 「全国納税貯蓄組合連合会主催」国税庁・法人会後援

### 【国税庁長官賞】

「世界と日本を比べて」 熊本県立鹿本商工高等学校 3年 平川 詩織

とあるテレビ番組で、セネガルの首都にある広大なゴミ置き場の映像を見た。およそ50年前から毎日、トラック何百台分ものゴミが捨てられ続けるその場所。小高い山が見えるが、近づいてみるとゴミが積み積もって出来上がった、文字通りゴミの山なのだ。人口300万人ほどの都市、ダカール唯一のゴミ埋め立て地は、日々流れ込む大量のごみによって、犯罪や健康被害の元凶となっていた。

さらにセネガルでは、下水処理のための整備もされていない。各家庭の汚水タンクから2ヶ月に1度、地面に穴を掘って水を放出するのだという。その水は土に吸収されて、その土で幼い子供たちが土遊びをしている。そんな光景が日常となっているなんて、私にとってはにわかに信じがたい事実だった。

日本に住んでいて、道端や住宅のそばがゴミで溢れかえっていたり、ましてやゴミの山ができていたりするような光景を見たことはないし、きっとこれから先もないと思う。では、なぜそう言い切れるのか。それは、日本のごみ処理が徹底しているからだ。とある調査の結果によると、世界のゴミ焼却場の数を比較すると、日本はアメリカの10倍以上もの焼却場があるということだった。先進国の中でも飛び抜けて数が多く、調べてみて私も驚いた。でも驚くと同時に、どうしてここまで沢山のゴミ焼却場をつくることができるのか、疑問にも思った。ではこのゴミ処理のために必要な資金は何によって賄われているのか。これが税金である。日本ではゴミ処理に年間に2兆円以上の税金が使われている。その税金のおかげで、家庭や会社から出るゴミの回収や処理が行われているのだ。つまり、税金がなかったら私たちの町もゴミで溢れかえり、健康被害の絶えないところになっていたかもしれない。そう考えるとわたしたちが日常的に納めている税金は、無くてはならない存在なのだ。他にも、水道の蛇口をひねるだけできれいで安全な水がでてくるのも、税金で作られる浄水場などの水道設備が整えられているおかげだ。また、近年増えている洪水や豪雨の際に下水管に雨水が流れ込む場合も、費用は税金で負担されている。もし、公費でなければ自分たちの住む町が浸水していた可能性も十分にある。

少し視野を広げて世界各国の日常を見るだけで、自分の生活が如何に恵まれていて、そして税金というものに支えられているのか良くわかる。これから社会人になっていく私たちは今より税金を納める機会が増えていこう。私はその度にきっと、思い返すはずだ。

「もしも税金がなかったら」と。



## 第27回 女性部会定時会員会議

公益社団法人山鹿法人会女性部会「第27回定時会員会議」が、令和6年6月4日（火）、山鹿市の「富士ホテル」において、親会通常総会の前に開催されました。

栗原副部会長の司会により、部会員43名（本人出席17名、委任状提出25名）の参加があり、来賓として山鹿税務署の木村署長、三次統括官、本会の本田会長及び各副会長並びに受託保険会社3社の各熊本支店幹部の方々をお迎えしての開催でした。



稲葉理事の開催の言葉に続き、会議の冒頭、本田女性部会長が、「令和5年度は新型コロナウイルスも2類から5類に移行され、人的制限もほとんどなく、部会員の協力により計画された事業を実施することができました。また、全国女性フォーラム愛媛大会、南九連女性の集い in 鹿児島や、県連女性の集い in 玉名（荒尾市）等にも積極的な参加をいただき、お礼を申し上げます。他の各単位会女性部会の仲間と交流することもでき、良かったと思います。

また、第15回となった小学生を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」においては、部会役員の方々の努力のほか、本会を中心とした税務協力団体の各団体長の表彰及び表彰への参加といった努力もあり、年々応募数は増加しており、過去最高の479枚の応募をいただきました。9月に実施した選考会には山鹿税務署長のほか、職員の方にもご参加いただき、この活動の重要性を感じております。

ただ、一般会員との交流の機会が持てていなかったことを見直し、令和6年度は部会員間の交流を図っていき、女性部会の活動を更に活性化させていきたいです。と本年度への抱負も述べられました。

本会の本田雅晴会長が、「女性部会は、女性の視点に立った活動や、高い行動力をもって日ごろから法人会事業に参画いただき感謝する。特に、法人会青年部会・女性部会で取り組んでいただいている租税教育は、税のオピニオンリーダーとしての法人会の活動に不可欠なもので、次代を担う児童・生徒に税の重要性を認識させるものであり、学校当局から感謝の言葉をいただいている。今後一層の支援をお願いする」とのエールの挨拶がありました。



その後、栗原副部会長の司会進行の下、「令和5年度事業報告及び収支決算書承認の件」、「令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件」などの諸議案が審議され、原案どおり満場一致で承認・可決されました。

その後、ご来賓の紹介の後、受託会社を代表して大同生命保険株式会社熊本支社の法人会推進部長小林敬介（前支社長）氏が、祝辞として「第27回定時会員会議開催のお祝い並びに日頃の活動に対する感謝の言葉を述べるとともに、令和5年度から新たに始まったキャンペーン「Challenge100」についての説明と、部会への協力をお願いしたい旨」ご挨拶されました。ご臨席いただいた木村山鹿税務署長からも、本会総会時に併せてのご祝辞をいただきました。

なお、令和6年度における女性部会の事業方針、計画及び当面の行事等は次のとおりです。

### 1. 令和6年度の活動基本方針

女性部会は、女性としての視点に立って本会の事業を積極的に推進するとともに、研修会及び親睦交流等を通じて部会員の自己啓発を図ることを目的として活動するとの理念の下、全法連女戦況及び本会の事業計画に則した事業を推進していく。

特に、全法連女連協が取り組んでいる「いわゆるフードロス問題」については、本年度もできるものを公益事業の中に組み入れて対応していく。



### 2. 事業活動

#### (1) 全国女連協、南九女連協、県女連協事業への参加

- 全国女性フォーラム広島大会 4月18日～20日
- 県女連協 女性の集い in 宇土 10月23日
- 南九女連協女性の集い in 大分 11月7日～8日

#### (2) 税務研修会

#### (3) 公益事業1（租税教育事業への参加・税金クイズ等の実施）

#### (4) 公益事業2（環境保全活動・献血活動・食品ロスへの対応等）

#### (5) 会員の親睦を図るための会合並びにレクレーションの実施

#### (6) 女性部会組織基盤の拡充（新規会員の加入推進）



### 3. 令和6年度 女性部会 当面の行事予定等

- 6.8.22 女性部会会員交流会 「久吾」：山鹿市
- 6.9未定 女性部会役員会
- 6.9未定 職場対抗ボウリング大会（玉名市；司ボウル）
- 6.10.23 県女連協）女性の集い in 宇土（華月園）
- 6.11.7 南九女連協）女性の集い in 大分（レンブラントホテル）
- 6.10～11月 チャリティゴルフ大会（鹿北ゴルフクラブ）
- 6.7～9月 令和6年度「第16回絵はがきコンクール」募集・選考

## 第 2 部 講演会

本年度は、山鹿市方保田にある、フランス菓子専門店「ricca」を経営されている「株式会社パストラル代表取締役社長 市原幸夫様」を講師としてお迎えし、『里山農林業と地域の新しいカタチ』と題して、講演をいただきました。

市原様は鹿本町在住で、「道の駅」等のプランナーとしてお仕事をされていた時に、そこに農産物を納入している農家の方々が、いわゆる規格外として商品として出荷できない厳しさを聞き、これを何とか助けたいとの思いから、規格外農産物を使用した産地アイスの製造会社「株式会社パストラル」を設立されました。現在では、年間 300 品種の小ロット多品種のアイスを製造し、全国に約 200 社の取引先があるとのことですが、設立当社は商品価格が高額であるとして、中々売れなかったそうです。

それでも、農家を助けるためには安価での販売はできないとの信念から、顧客を開拓していき、県内のホテルやレストランから「地元でしか食べられないアイスなら価格が多少高くても使いたい」との注文が入るようになり、業務用の高級産地アイスメーカーとしての活路を見出されたとのこと。

市原様には、3人の息子さんがおられ、当初は、息子さんたちはいずれも都会に出ておられていたそうですが、いずれの息子さんたちも結婚を機に故郷に帰り、市原さんの夢を実現するために頑張っておられます。

長男さんは、都内の金融機関で働いておられましたが、結婚を機に奥様と帰郷し、アイス事業に参画され、「小ロット多品種のオーダーメイドアイス」のビジネスモデルを構築されました。

次男さんは東京の大学農学部を卒業し、東京の会社に勤務しておられましたが、結婚を機に帰郷し、奥様と一緒に農業を継がれ、高齢化が進み、事業継続が厳しくなった農家の方々と協力し、無農薬アイガモ米の生産や山鹿の特産品である栗の生産、アンボ柿の生産等にも取り組まれております。

三男さんは東京の有名レストランのパティシエとして働いておられましたが、結婚を機に帰郷しても良いとの意志を確認された市原さんは、フランス菓子専門店「ricca」を開店されたとのこと。

本格的なフランス菓子が山鹿でも味わえること、里山の農業を守ろうと市原様が取り組んでこられたそれまでのストーリーが地元メディアにも取り上げられるなどし、市原様は農業に係る種々の賞も受章されております。

市原様は、現在の里山農林業の現状とその再生のためにはどうあるべきかを自己の体験を基に、面白く楽しくお話しくださいました。

予定していた講演時間はあっという間に終了し、総会に出席していた皆様方、市原様の話に聞き入っておられました。木村副会長が謝辞を述べ、講演会は終了しました。



## 第3部 交流会

人的抑制の制限のない状況となり、実に4年ぶりのフルスペックの会員交流会となりました。

交流会の冒頭、総会に間に合わなかった早田順一山鹿市長が「租税教室の開催や献血など、当会の活動に対する謝意とともに、菊陽町に進出するTSMCの第一工場がいよいよ稼働し始め、新たに第2工場の建設等も始まる。

これにより、山鹿を取り巻く経済環境も大きく成長していくであろうこと、山鹿市においても新たに工業団地の整備を図っており、関連事業者の誘致に向け取り組んでいる。また、山鹿市は少子化対策に力を注いでおり、TSMCや関連企業の進出は当会管内の住民の増加も期待できると考えている。今後とも、市政の発展のために法人会の皆様の協力をお願いする」旨挨拶されました。

次に、来賓としてご出席いただいた熊本西税務署の菊川晃副署長の乾杯のご発声の後、久しぶりの旧知の会員とおしの交流は大いに盛り上がっておりました。

なお、各テーブルの上には本年も「3010運動」のミニ幟を配置し、しっかり「フードロス問題」に取り組む女性部会でした。

最後に、入江雄二副会長の中締め德音頭で、交流会を終了しました。



間違い探し『人間万事金世中』の答え

- ① 月の位置 (中上)      ② 岩の数 (中上)
- ③ 女性の目線 (左中)    ④ 男性の髪型 (中央)
- ⑤ 船の向き (中央)      ⑥ カニの大きさ (中央)
- ⑦ 丁稚のマゲ

【作者の紹介】神谷一郎 (かみや・いちろう)

専修大学法学部卒業後、マンガプロダクションを経て漫画家に。  
現在はフリーランスのイラストレーターとして、雑誌・広告・  
水彩画挿絵等で活躍中。

